令和３年度第２回北区地域包括ケアシステム推進会議　書面開催意見集約

《決定後の北区地域包括ケアシステム推進方針についての意見》

１　北区地域包括ケアシステム推進方針１の取り組みについて

委員の方々からの意見・提案
●8050 問題が取り上げられ、当障がい者支援センターにも少しづつ問い合わせを頂くようになってきました。力不足でまだまだ認知度が低く高齢者の方々が、子供さんやお孫さんについて相談でき、安心して頂けるようサポートしていきたいと考えています。これからの取り組みの中に周知・広報が入っておりましたので、当センターも加えて頂き、広く知って頂けるようお力をお借りできると幸いです。 ●方針１（２）②認知症の方にサービスを提供している事業所が地域協力のネットワークとどうつながるか明確化してほしい。 ●方針１（２）③要援護者の登録・個別計画作成と共に、どこに避難するかを本人・家族・サービス事業所・近隣の協力者等と実践訓練ができるレベルまでなる事を期待しています。 ●方針１（１）①私たちの町内では、平成 26 年に「熊本防災クラブ」に入会して、早速「心のデュエット」という町内の「独居老人」とご近所の「その方を見守る人」のコンビを結びつける組織を結成し防災訓練を行って効果を試していた所、あの熊本地震では早速効果が出ました。この組織をぜひ校区全体に広げたいと思いどう伝えればよいのか苦慮している所です。 ●方針 １：単身高齢者の増加、認知症の人と家族の支援等、身近に関わる問題となってきつつあります。少子化の影響がこれから先大きくなり関わってくると思います。 ・プライバシー重視がありどれだけ一般人が関わっていけるか難しいと思います。 ●方針１（２）②監視カメラなどモニターの充実と警察との連携が欠かせないと思います。 ●方針１（２）③避難支援体制の整備は、ハザードマップの火について火事の時のものがないので、先ず火事関係のハザードマップを作り、それに基づく消火活動や狭い道路の問題も同時に解決しないとダメだと思います。

2　北区地域包括ケアシステム推進方針２の取り組みについて

委員の方々からの意見・提案
●交流の場の活性化…スマホの勉強会をサロンでやってはいかがでしょうか？

3　北区地域包括ケアシステム推進方針３の取組みについて

委員の方々からの意見・提案
●地域みんなで支える「人づくり」、お互い様の気持ちを育てるために、認知症サポーター養成講座のように、熊本市障がい者サポーター研修を行っています。地域の皆様にサポーターになってになって頂きたいのはもちろんですが、高齢者の方々もできる人ができるだけの精神で、ぜひサポーターになっていただきたいと思っています。無料で研修を承ります。 ●今の小･中学生、高校生はITに強くなるよう学校で電子機器を使っているので、サポートになると思います。

4　北区地域包括ケアシステム推進方針全般についての意見

委員の方々からの意見
●各委員の意見がかなり取り入れられ、現状意識と課題さらにこれからの取り組み事項が明確となり、後には項目ごとの実施を見える化？にして係わった委員も何らかの形で参加し実感を得たい。そのことが地域の中で自分もその一員で皆さんと協力しながら組織づくりも形が出来き各種団体等とも連携がとれ、2025年・8050（9060等）に少なからず対応できるのではないかと思います。 ●高齢の方々が暮らしやすい街づくりが、障がいの方へも暮らしやすい街となるかと思います。取り組みにつきましては、出来るところがありましたら、積極的に協力させて頂ければと考えます。 ●憩いの家に Wi-Fi を設置も、足が悪い高齢者は自宅でのリモート対面が出来るようになると、今後アフターコロナ・ウィズコロナにおいて、新しい生活様式が構築出来ると思います。 ●認知症高齢者の徘徊事業等に関するタイムリーな情報共有と地域への情報発信・事案認知時の初期対応の連携について、より一層の協力をお願いします。